

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 〔2023年1月10日放送分・山上清水／唸坂〕

毎月第1火曜日に放送しています。(今月は第2火曜日に放送しました。)歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。

- 歴史散歩は、いよいよ新シリーズ「四ツ谷用水を追う」がスタート！まずは青葉区八幡、大崎八幡宮の西側にのびる旧作並街道からです。
- 伊達政宗の時代に整備が始まったという用水路「四ツ谷用水」。工事の陣頭指揮をとったのは、北上川の治水工事で知られる川村孫兵衛でした。四ツ谷用水は、青葉区郷六から福沢町までの約8kmの本流と、そこから分かれるいくつもの枝線から成ります。暗渠部分が多いものの、多賀城方面への工業用水として、何といまも現役(!)の用水です。大崎八幡宮から少し西に進んだ作並街道沿いに、四ツ谷用水の水源の1つで「山上清水」と呼ばれる湧き水が残されています。弘法大師が錫杖で地面を突いたところ、枯れることのない泉が湧いたという伝説があります。街道沿いの山裾に、小さな祠が残されています。

- コーナー31本目の辻標は「山上清水／唸坂」です。仙台城の石垣は、国見峠から切り出してきた事がほぼ確認されていて、この急坂を牛がウンウン(モーモー?)唸りながら、最大7トンの巨石を引っ張って下りてきていたようです。ちなみに、仙台城のある川内方面へ広瀬川を越えた辺りに、明治後期になってできた橋が「牛越橋」というわけです。



- 木村浩二さんとの歴史散歩は、約1年の予定で杜の都に「水」の痕跡を求めて歩きます。今後の旅にご期待ください！

〈文・佐々木淳吾〉